

「健康ちば 2 1（第 2 次）」の最終評価について（案）

1 計画の期間と最終評価の時期

- 「健康ちば 2 1（第 2 次）」は、健康増進法第 8 条の規定による、本県の総合的な健康づくりのための基本的な方針として、平成 2 5 年 3 月に策定され、平成 3 0 年の中間評価を経て令和 4 年度までの 1 0 年間にわたって取り組む計画となっていた。
- 昨年度、国の健康増進計画である「健康日本 2 1（第二次）」の計画期間が 1 年延長されたことに伴い、「健康ちば 2 1（第 2 次）」についても、計画期間を令和 5 年度まで延長し、1 1 年間の計画となったが、各目標に係る年及び年度は、計画期間の延長に伴う変更は行わないこととしている。そのため、計画当初の最終年度にあたる令和 4 年度中に、各目標に係る最終評価を行うこととする。

2 最終評価の目的と方法

「健康ちば 2 1（第 2 次）」で定める 1 5 分野 6 4 項目 1 1 3 指標について、目標の達成状況やこれに関連する事業や取組の評価を行い、次期健康ちば 2 1 の計画策定・推進に反映させることとする。

3 健康目標の評価方法

経年変化をみる上で、平成 2 5 年度の策定時、平成 ~~3 0~~ 2 9 年度の中間評価時、直近の令和 3 ~ 4 年の 3 時点におけるデータを集め、各分野の目標について、国同様に目標達成に向けた A から E までの 5 段階評価を行う。

- A 現状値が目標に達した
- B 現状値が目標に達していないが改善傾向にある
- C 現状値が変わらない（達成率±5%以内）
- D 現状値が悪化している
- E 目標設定以後、調査等が実施されていないなどの理由で現時点では評価できない（中間評価以後の数値があるものは E 評価とはしない）

4 評価に関する課題・検討事項

- 新型コロナウイルス感染症による影響の評価をどのように考えるか
→国は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前までのデータ（令和元年）を用いて指標の評価結果を出し、新型コロナウイルス感染症の影響について別に記述している。
県は昨年度に生活習慣アンケートを実施しており、最新のデータを評価に活かしたいと考えるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることは避けられない。最終評価は最新データで行うこととするが、次期計画策定時のベースライン値をどうするかは十分検討したうえで考えたい。
- 中間評価以後のデータがない指標について、評価時の扱いをどうするか
→E 判定とするか、中間評価時のデータを使い評価するか、他に暫定値や代替の参考値をあてはめて評価するか

(参考)

分野別健康目標評価表（令和4年8月調査時点 未精査の参考値）

施策	分野	目標項目	指標数	評価（達成度）					評価B以上の割合(%)	
				A	B	C	D	E		
	1	総合目標	2	4	1	0	0	1	2	25.0%
I	2	栄養・食生活	7	13	1	0	1	4	7	7.7%
	3	身体活動・運動	3	9	3	1	0	1	4	44.4%
	4	休養	3	3	0	2	0	1	0	66.7%
	5	飲酒	3	5	0	4	0	1	0	80.0%
	6	喫煙	5	11	1	9	0	1	0	90.9%
	7	歯・口腔の健康	8	8	0	5	0	3	0	62.5%
		小計	29	49	5	21	1	11	11	53.1%
II	8	こころの健康づくり	4	5	1	3	0	1	0	80.0%
	9	次世代の健康づくり	8	12	5	1	1	5	0	50.0%
	10	高齢者の健康づくり	5	7	0	1	0	3	3	14.3%
		小計	17	24	6	5	1	9	3	45.8%
III	11	がん	3	14	3	10	0	1	0	92.9%
	12	循環器疾患	6	14	4	6	0	4	0	71.4%
	13	糖尿病	3	4	2	1	0	1	0	75.0%
	14	COPD	1	1	0	1	0	0	0	100.0%
		小計	13	33	9	18	0	6	0	81.8%
IV	15	つながり	3	3	1	1	1	0	0	66.7%
		小計	3	3	1	1	1	0	0	66.7%
全体	合計	64	113	22	45	3	27	16	59.3%	
	割合(%)		100%	19.5%	39.8%	2.7%	23.9%	14.2%		

分野：総合目標

1 健康目標の達成状況

No	目標項目	策定時の値(H22年)	中間評価	最終評価（最新値）	目標値(R4年度)	評価	
1	健康寿命の延伸 （日常生活に制限のない期間の平均の延伸）	男性	平均寿命 79.88年 健康寿命 71.62年	平均寿命0.22/年 (H22→H27年) 健康寿命0.13/年 (H22→H28年)	平均寿命0.22/年 (H22→H27年) 健康寿命0.11/年 (H22→R1年)	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	E
		女性	平均寿命 86.20年 健康寿命 73.53年	平均寿命0.14/年 (H22→H27年) 健康寿命0.27/年 (H22→H28年)	平均寿命0.14/年 (H22→H27年) 健康寿命0.24/年 (H22→R1年)	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	E
2	健康格差の縮小 （日常生活に制限のない期間の平均の市町村格差の縮小）	男性	2.20	2.05年 (H29年)	2.61年 (H30年)	市町村格差の縮 小	D
		女性	2.50	2.49年 (H29年)	2.20年 (H30年)	市町村格差の縮 小	A

2 健康指標の経年変化及び分析

3 関連する取組

4 今後の課題